備前市事務事業評価シート

（平成21年度事業）

事業の概要					
事業開始年度		昭和５９年度～		根拠法令・例規等	備前市自治公民館・集会所等施設整備事業補助金交付要綱
総合計画	大項目	基本目標	03	地域文化と人が輝くまちづくり	問合先 担当課（室）：中央公民館
	中項目	基本施策	02	生きがいのあるまちづくり	職・氏名：館長補佐　山口晋作
	小項目	施　策	04	公民館	電　話：６４－１１３３
事務事業名			06	自治公民館等整備事業	このシート作成に要した時間：4.0 時間

事業の目的	
対　象（誰・何に対して）	備前・吉永地域の自治公民館、集会所等
目　的（何のために）	自治公民館・集会所等の新築、維持管理費の負担を軽減させるため。
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	地区社会教育活動の拠点施設としての充実、発展の一助となる。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
自治公民館等整備事業	自治公民館の新築費、維持管理費の一部を補助金として交付 H19　13件　10,767千円 H20　13件　8,312千円 H21　14件　8,676千円	◎

事業費等		単位	平成19年度実績		平成20年度実績		平成21年度実績	
決算額 事業費	直接事業費	千円		10,126		7,797		8,506
	必要人員　人件費	千円	0.10人	641	0.09人	515	0.14人	939
	事業費計	千円		10,767		8,312		9,445
財源	国県支出金	千円						
	受益者負担	千円						
	繰入金	千円						
	市債	千円						
	その他（　）	千円						
	一般財源	千円		10,767		8,312		9,445
受益者負担比率		%		－		－		－

結果指標名	単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
補助金交付実績	説明	実施件数		
結果指標量	事業	13	13	15
対前年比	%	－	100.0%	115.4%
活動コスト	円	10,767,000	8,312,000	9,446,000
単位当たりコスト	円	828,231	639,385	629,733

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業の成果

成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
実施率	目標値（A）	100	100	100	100
	実績値（B）	100	100	100	到達目標値
	達成率（B/A）	100.00%	100.00%	100.00%	100

成果指標設定の考え方・式や説明：実施件数/要望件数

事務事業の評価

			評価
妥当性の評価	市の関与の妥当性	☐ 市が実施するよう法令で義務づけられている ☐ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす ☐ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない ☐ 事業の内容が一部の受益者に偏っている	妥当性評価 <A～E>：B
	必要性	☐ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている ☐ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である ☐ 事業開始当初の目的から変化してきている ☐ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている ☑ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	
	市民ニーズ	☐ 市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	☑ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している ☐ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある ☐ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある ☐ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい	効率性評価 <A～E>：B
	手段	☑ 受益者負担率は適正である ☐ 受益者負担率を見直す余地がある ☐ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない ☐ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある ☐ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	
有効性の評価	目的達成度	☐ 成果指標の設定は適切である ☑ 成果指標の到達目標値は達成できそうである ☑ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している ☐ 成果指標達成率は80%未満となっている ☐ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 <A～E>：B
	市民参画度	☐ 法定事務　・　内部管理事務　であり成果は求めにくい ☐ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している ☐ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい

進行年度（H22年度）の改革改善内容

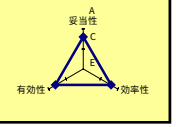
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

説明：H22.5末現在、要望15件（備前13、吉永2）のうち、申請9件（備前7、吉永2）
次年度分は、10月までに各自治公民館の要望調査を行い予算計上

総合評価

平成21年度は要望13件に対し全て実施した。

評価区分 <A～E>：B



平成23年度の方向性 及び 取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

取組目標：老朽化している自治公民館も多く、要望も多い事業である。